

取組み(功績)の概要

「地域住民の参画も得ながら、市内のバス交通ネットワークを構築」

旧町営バスの運行方法の統一と交通空白地域への対応を図るため、市営バスの再編によるバス交通ネットワークの再構築に取り組んだ。再編に当たっては、葛生地区、田沼地区、佐野地区の市街地を結ぶ路線を基幹線とし、これに接続する路線である支線はフリー乗降やデマンド運行等、地域需要に応じた運行形態を導入。乗り継ぎ利便性の向上も、あわせて図っている。

交通空白地域(赤見地区)での名水赤見線の導入に当たっては、ワークショップにおいて運行内容を決定するなど地域住民主体の公共交通の導入が進められているほか、「佐野市バス・エコ・サポーターズクラブ」による活動展開など、地域の関係者との協働体制が構築されている。

事業内容

1. バス交通ネットワークの再構築

・各路線の利用実績の分析や、利用者の要望等の検討により、利用者ニーズにあった便数、時間帯、一部のデマンド化(予約制運行)等への見直しを行い、利便性の向上を図る。

基幹線: 葛の里壱番館を起点に、葛生駅、佐野駅、佐野新都市バスターミナルを結ぶ路線
支線: フリー乗降、一部デマンドなど運行方法を工夫

2. 交通空白地域の解消

・交通空白地域(赤見地区)へのコミュニティバス(名水赤見線)の新設に当たって、沿線住民が参加するワークショップを行い、運行経路やバス停位置、便数など検討(全8回実施)。
・他の交通空白地域(犬伏地区)においても、ワークショップが開催されるなど、地域住民主体の公共交通の導入という考え方が、市内に展開・定着しつつある。

3. 利用促進策

・運賃収入以外の安定的収入を確保するため、「佐野市バス・エコ・サポーターズクラブ」を設立。年会費の支払いにより各種の特典を付与。
・3つの祭りの日に合わせた「無料乗車日」の実施、市内の小・中・高校生を対象に夏休み期間中バスが乗り放題の「夏休み子どもパスポート」会員の募集等



ひこま
飛駒線

